



幕小での取組



性暴力を生まない環境の整備を進めています

①校内死角点検を実施しています

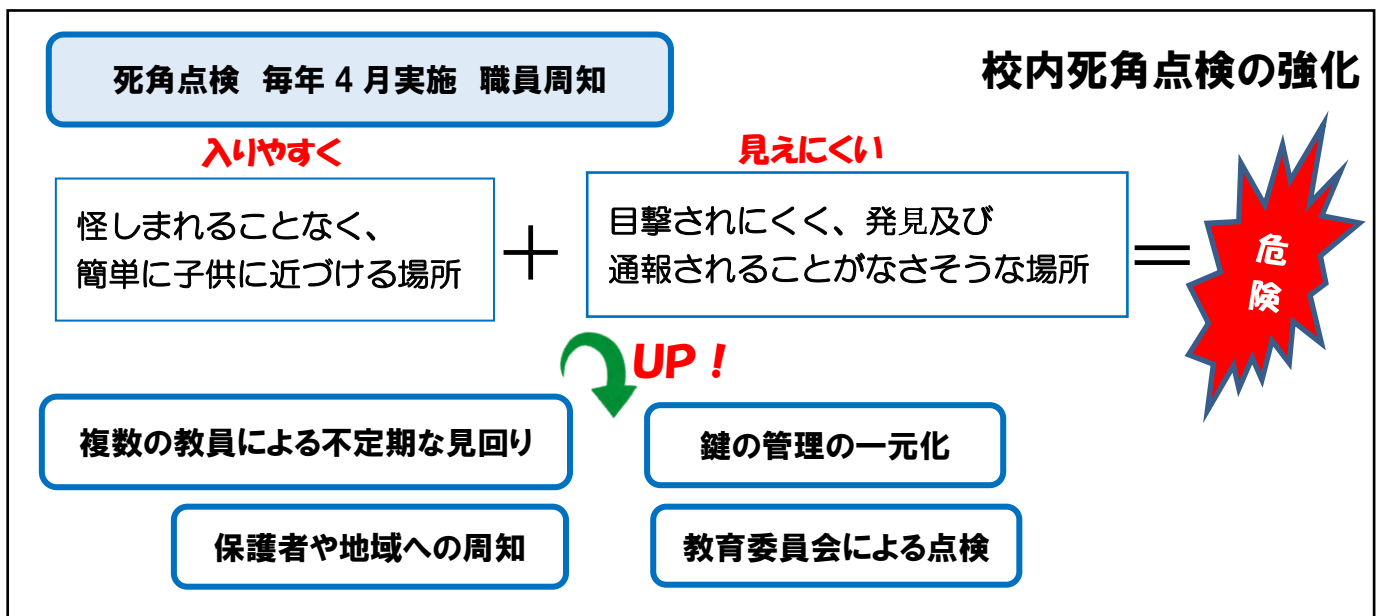
毎年4月に管理職が校内死角点検を実施し教育委員会に報告しています。また、点検後、校内の死角(入りやすく、見えにくい場所)を職員に周知し、学校内での空き教室等の管理についてのルールの徹底を図っています。

「死角」をゼロに近づけるための対策の徹底

- ・空き教室は施錠をする。
- ・鍵の管理を管理職等において一元管理する。
- ・廊下から教室が見えるようにする、ドアを隠す掲示物は貼らない

②複数の職員による定期的な見回りを行っています

- ・管理職が授業時間中に各教室を見回ります。
その際に、各担任が居るべき場所に所在するか、特定の児童生徒が担任と行方不明となっていないか確認しています。
- ・死角となっているフロアや空き教室等の見回りを実施します。その際は、廊下等外からの目視ではなく、実際に中に入り状況を確認しています。



児童への性教育の充実を図っています

①生命(いのち)の安全教育を行います

深刻化する子どもへの性犯罪や性暴力の被害を減らそうと、内閣府と文部科学省は学校などで使える教材（生命の安全教育）を作成しました。生命（いのち）の安全教育の教材を活用し、1・2年生を対象に水着で隠れる部分のほか口や顔は「自分だけの大切なところ」と教えた上で、他の人に見せたり触らせたりしないよう指導します。触られて嫌な気持ちになったときは、安心できる大人に相談しなさいと教えていきます。教材は下記のサイトよりダウンロードできます。安全・安心の学校生活を送れるよう学校でも指導してまいります。ご家庭でも折に触れて話題にしていただけると幸いです。

水着で隠れるところは自分だけの大事なところだよ



https://www.mext.go.jp/a_menu/danjo/anzen/index.html

②CAP絵本の読み聞かせを行います。

CAPとは子どもがいじめ・虐待・体罰・性暴力など様々な暴力から自分の心とからだを守る暴力防止のための予防教育プログラムです。CAPのワークショップを絵本で紹介します。本の中では、子どもには大切な「権利」があること、いじめやなどで権利が取り上げられそうになったら、「いやだ」とはっきり言ったり、逃げたり、いざというとき自分は自分で守ることを学びます。9月中に3学年で読み聞かせを行います。

あなたが守るーあなたの心・あなたのからだ

対象年齢：およそ8~9才から

作 森田 ゆり

絵 平野 恵理子



児童からの相談体制の充実を図っています

①子どもにここをサポートを実施しています



相談員が子どもたちの悩みや不安などの相談にのる「子どもにここをサポート」を実施しています。相談内容は体罰、性的な嫌がらせ、いじめなどについてです。相談用紙は年4回（4・7・10・12月）に配付します。また、児童生徒がいつでも相談できるように相談用紙は各学校に常置されています。公民館にも置いてあります。千葉県教育委員会のHPからダウンロードもできます。

<https://www.city.chiba.jp/kyoiku/kyoikusomu/kyoikushokuin/nikoniko.html>